

令和6年度 市内地下水等におけるPFAS（有機フッ素化合物）の調査結果

【調査日】 令和6年12月6日（金）

【調査地点】 市内の井戸（地下水）から10地点
※昨年とは異なる地点で調査（1地点を除く）

【調査項目】 PFASの内、国による暫定目標値の定めがあるPFOS及びPFOAならびに要調査項目に位置付けられているPFHxS

【調査方法】

PFOS及びPFOA : 令和2年環水大水発第2005281号付表1に掲げる方法

PFHxS : 環境基準健康項目専門委員会（第19回）資料3別紙6に掲げる方法

【調査結果】 PFOS及びPFOAの合計値について、10地点全てで、暫定目標値の50ng/L（ナノグラムパーリットル）を下回りました。

※PFHxSについては国等で示される指針値や目標値はありません。

調査地点	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS・PFOA 合計値 (ng/L)	PFHxS (ng/L)
熊川①	11	9.1	20	0.7
熊川②	5.6	3.2	8.9	0.9
熊川③	13	15	29	1.6
熊川④	8.6	8.0	16	0.6
牛浜	17	9.2	26	1.9
福生①	9.6	6.9	16	2.3
福生②	8.4	9.3	17	1.3
福生③	5.4	4.6	10	1.1
福生④	5.2	1.3	6.5	1.0
福生⑤	3.3	2.9	6.3	0.3

※本調査は「PFOS及びPFOAの合計値」について、定量下限値を0.3ng/L、有効桁数2桁で処理しているため、合計値が必ずしも「PFOS」と「PFOA」の和と一致しません。